

8 【 岩手中学校・岩手高等学校 】

岩手中学校・岩手高等学校 同窓会（石桜同窓会）

岩手中学・高等学校

校 歌

土井 晚翠 作詞
山田 耕作 作曲

一、旭日におう桜花

其芽大地の深きより

出でて貫く花崗石

郷の名所青春の

意気をかたどるうれしさよ

三、大沢川原もとをおく

わが中学の同じ窓

希望の光身に浴びて

心ひとしくすこやかに

高き遠きにあこがるる

二、見よ金剛の不壊の念

神と祖国と人道の

三つに仕えて怠らず

日々につとめて光榮を

期する一団若き友

四、無言のさとし朝夕に

七千尺の岩手山

北上川の八十里

友よ心の目にも見て

いざ向上の道踏まん

本校の前身である旧制岩手中学校は大正 15 年 4 月に創立され、戦後の学制改革により新制岩手中学校・岩手高等学校としてスタートしました。岩手県唯一の男子中高一貫校にして、盛岡市にある国の天然記念物「石割桜」を象徴とする「不撓不屈」「質実剛健」のいわく「石桜精神」の風風を涵養し、社会的有意な人材育成を目指す私学校であります。ご紹介する校歌は開校 2 年後の昭和 3 年 1 月に土井晚翠先生の作詞、山田耕筈先生の作曲により誕生しました。これは所謂晚翠調とも言える七五調・五言詩で、曲調は軽快なテンポで雄麗さがあります。その一番は「石割桜」の力強さが、二番には校訓の「積慶・重暉・養正」を組み入れ、三番は学園での友情を、そして四番では郷里の山河が称えられ、詠み込まれております。

我々はこの校歌に限りない愛と誇りを持っており、本日ここに石桜同窓有志一同心を込めて歌わせて頂きます。岩手中学校・岩手高等学校校歌です。